

「福富提言」～福富のよりよい未来のために～

生徒 第3学年8名

1 単元設定の理由

【単元の日標】

○福富のよりよい未来に向けて発展的なテーマを設定し、立てた仮説を検証するために適した手段や方法を考えたり、実際に活動に取り組んだりすることを通して、自分たちの暮らしは自然との共生や地域住民の協働で成り立っていることを理解するとともに、自分たちを含めた地域の人々にとってよりよい未来とは何かを多角的・多面的に考えて実現可能な方法を探し求め、未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。

【生徒の実態】

○事前に行ったアンケートでは、福富は他地区と比べて自然環境が良い（水や動物など）というイメージをもっている生徒が多かった。そして、その自然環境を守っていかなければならないものとして認識している。一方で、このままでは過疎により町の維持ができないのではないかと感じている生徒も多数いる。自然環境を守ること、地域の人たちのあたたかなつながりを大切にしていくこと、過疎化しすぎないように福富町の良さを生かしたお店を企画することなど、住みやすさと自然保護を両立させていく必要があると感じているが、何を行えば改善することができるのか、具体的なアイデアは十分にはもっていない。

【単元観】

○福富町は、平成17年からの15年間で約20%人口が減少している。一方で、福富町を選んで移住してくる人もいる。本単元は、様々な視点から「よりよい福富の未来」について考え、そのために何をすればよいか仮説を立て、検証を行っていく。検証に必要な情報を収集するために、アンケートを企画したり、実際に起業されている方にインタビューをしたり、インターネットを活用したりするなど、自分の仮説を客観的に考え、よりよい解決策を創造すれば、主体的な力が身に付くと考える。そして、そのまともを相手の興味関心を引き出すように工夫して発信することを通して、発信力が身に付くと考える。

【指導にあたって】

○誰のために行うのか、何のために行うのか、視点を大切に展開

福富のよりよい未来のために、具体的に仮説を立てて検証していく。仮説を設定する時から、それは誰のために行っているのか、何のために行っているのか、視点を明確にして考えさせる。そして同じ課題であったとしても、視点が変われば解決策が変わっていくことに気付くよう、様々な視点から関係する情報を収集させる。そして、収集した情報から仮説を客観的に検証することにより、より現実的で実現可能な手段や方法を考えていく。視点を大切に展開を行うことで、課題を多角的・多面的に考え、解決策を導き出す力を身に付けさせたい。

○これまでの地域学習を生かした9年間のまともとしての「福富提言」

小学校で学んだ福富の良さ、中学校で考えた福富の良さや課題など、これまでの学習を踏まえて、福富のよりよい未来の在り方について自身のテーマを設定し、仮説と検証をもって再構成した自身の考えを、後輩に対して提言する。検証部分では、調べ学習や校外活動、インタビューなどを通して、実態に迫る情報を根拠に、解決策を立案し、分かりやすく発信する力を身に付けさせたい。

2 単元構想ストーリー

自分の生き方を考える	地域に誇りをもつ	地域との連携 体験活動・資料	生徒の意識 の流れ
<p>○自分の持ち味を見つめ直し、自分のよさを知る。</p> <p>○自らのよさを生かしながら、「福富のよりよい未来」のためにできることを考える。</p> <p>○他者の意見を参考に、「福富のよりよい未来」について考え直す。</p> <p>○「福富提言」に取り組むことで得たものの見方や考え方を、今後の生き方に生かそうとしている。</p>	<p>○「福富のよりよい未来」とはどのようなことを考える。</p> <p>○福富の魅力や課題について、地域の方の意見等も参考に、現状とニーズを把握し、「福富提言」のテーマを決定する。</p> <p>○どうすれば福富の魅力を生かした「よりよい未来」を作り出せるか仮説を立てる。</p> <p>○仮説の検証方法を考え、計画を立て実行する。</p> <p>○パワーポイントにまとめ、学年で経過報告会を行い、意見交流をする。</p> <p>○経過報告会での指摘や意見を取り入れ、再度考えをまとめる。</p> <p>○「福富提言」を中学1・2年生に向けて発表する。</p> <p>○中学1・2年生の意見や考えを聞き、自分の発表を振り返る。</p>	<p><資料> 福富町の人口グラフ、年代別グラフ</p> <p>聴き取り ※対象【生徒の身近な福富町民】</p> <p><地域との連携> 検証アンケートの実施・分析 ※対象【福富町全域】 他地域の取組、比較</p> <p><体験活動> 中学1，2年生対象に発表</p>	<p>・周りから見ると、自分にはこんなよさがあるのだな。</p> <p>・一言で「よりよい未来」と言ってもいろんな人がいるから難しいな。</p> <p>・どんな立場の人がどんな意見をもっているのだろう。少数の意見も大切にしたいな。</p> <p>・こんな取組をすれば、福富の魅力を生かし、よりよい未来を作り出せるだろう。</p> <p>・他の町の例もあるのかな。調べてみよう。</p> <p>・「福富のよりよい未来」についていろんな考え方があったな。</p> <p>・自分とは違う意見や考えを参考にして、もう一度考え直してみよう。</p> <p>・自分の考えや思いを後輩に伝えたい。</p> <p>・自分の発表を聞いて、こんな意見をもってくれたんだな。いろいろな考えがある中で、大切なことって何だろう。</p>



めざす児童・生徒像

福富のよりよい未来に向けて発展的なテーマを設定し、自分の考えを発表することを通して、福富の地域に誇りを持ち、地域に貢献しようとする意識を高めるとともに、自分の生き方について考えを深めることができる生徒

3 単元の評価観点・評価基準

評価の観点		評価基準	
		A	B
知識 技能	① 知識	○福富のよりよい未来について、自然との共生や地域住民の協働のバランスが重要であること、生活や暮らしとのつながりが大切であることなどを、 <u>具体例を挙げて説明することができている。</u>	○福富のよりよい未来について、自然との共生や地域住民の協働のバランスが重要であること、生活や暮らしとのつながりが大切であることなどを理解している。
	② 技能	○地域へのアンケート実施を、 <u>仮説の検証に必要な情報を集める質問を考え、対象者や場面に応じた適切さで実施している。</u>	○地域へのアンケート実施を、対象者や場面に応じた適切さで実施している。
	③ 探究的な学習の良さの理解	○福富のよりよい未来の在り方と自分の生活との関係について探究し続けてきたことによって、自らの行動が未来社会に深く関わっていることに気づき、 <u>実現可能な手段、方法について考えている。</u>	○福富のよりよい未来の在り方と自分の生活との関係について探究し続けてきたことによって、自らの行動が未来社会に深く関わっていることに気付いている。
思考 判断 表現	① 課題の設定	○福富のよりよい未来について、 <u>何をどのように調べ、検証していくのか見通しをもって主題を設定している。</u>	○福富のよりよい未来について、主題を設定している。
	② 情報の収集	○仮説の検証に必要な情報を、 <u>相互に関連付けながら、幅広く効率的に収集している。</u>	○仮説の検証に必要な情報を収集している。
	③ 整理・分析	○地域の方々の思いや願いを比較しながら <u>共通点や相違点を見付け、福富町の魅力について多面的・多角的に情報を整理・分析している。</u>	○地域の方々の思いや願いを比較しながら福富町の魅力について情報を整理・分析している。
	④ まとめ・創造・表現	○課題に対する解決方法について、 <u>様々な立場の考え方を踏まえた上で、根拠を明らかにして、自分の考えを主張している。</u>	○課題に対する解決方法について、根拠を明らかにして、自分の考えを主張している。
主体的に学習に取り組む態度	① 自己理解・他者理解	○他者の意見を尊重し、 <u>互いの良さを生かそうとしている。</u>	○他者の意見を受け入れようとしている。
	② 主体性	○課題の解決に向けて、 <u>よりよい解決方法を考えながら見通しをもって活動に取り組み、まとめようとしている。</u>	○課題の解決に向けて、見通しをもって活動に取り組み、まとめようとしている。
	③ 協働性	○自身の考えと異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ、 <u>参考にして、改善に生かそうとしている。</u>	○自身の考えと異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ、参考にしようとしている。
	④ 将来展望・社会参画	○自分たちにできる取組の必要性を、 <u>地域（後輩）に伝え、自らも地域社会に関わっていこうとしている。</u>	○自分たちにできる取組の必要性を、地域（後輩）に働きかけようとしている。

4 単元計画【地域探究学習のみ（全20時間）】

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点 (評価方法)	教科・特別活動等との関連
1 導入・課題設定 (2時間)	<p>◎「福富のよりよい未来」とはどういうことを考えることができる。</p> <p>○地域の未来を考えて「福富提言」を後輩に発表することは、福中生として後輩に思いを託すことにつながることを知る。(本時)</p> <p>○「福富提言」のテーマを考える際、それが“誰のため”であるかをよく考える。</p> <p>○みんなにとって「福富のよりよい未来」とはどういうことを考える。</p> <p>○考えを交流する。</p>	<p>主④(行動観察)</p> <p>思①(ワークシート)</p> <p>知③(ワークシート)</p> <p>主①(発言, 行動観察)</p>	<p><理科> 人間と環境</p>
2 展開① 情報収集 (5時間)	<p>◎「福富提言」のテーマを決定することができる。</p> <p>○福富の魅力や課題について、自分たちの考えだけでなく、地域の方の意見も聞いて、現状とニーズを把握する。</p> <p>○福富の未来がさらに良くなりそうなことを考える。</p> <p>○今後取り組んでいくべきことについて考えを整理し、グループを形成して、テーマを設定する。</p>	<p>思②(行動観察)</p> <p>知③(ワークシート)</p> <p>思③(ワークシート)</p>	
3 展開② 整理・分析 まとめ・表現 (5時間)	<p>◎どうすれば福富の魅力を生かした「よりよい未来」を創りだせるかについて仮説を立て、その検証方法を考えることができる。</p> <p>○福富のよりよい未来について考え、仮説を立てる。</p> <p>○仮説の検証方法を考え、整理する。</p> <p>○仮説検証のために地域住民にアンケート等を実施する。</p> <p>○調査・実験等が必要であれば計画し、実行する。</p> <p>○様々な情報を整理・分析し、パワーポイントにまとめる。</p> <p>○学年で「福富提言」の経過報告会を行い、互いに意見交流を行う。</p>	<p>主②(ワークシート)</p> <p>思②,③(ワークシート)</p> <p>知②(行動観察)</p> <p>知②(行動観察)</p> <p>思④(制作物)</p> <p>主③(発言, 行動観察)</p>	<p><社会> 地方自治と私たち</p> <p><道徳> C(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度</p>
4 展開③ 整理・分析 課題の設定2, 情報の収集, 実行 (5時間)	<p>◎仮説の検証結果を考察し、考えを深める。</p> <p>○「福富提言」の経過報告会での指摘や意見等を整理し、仮説や検証方法について再検討したり、改善策を考えたりする。</p> <p>○追加調査や実験等が必要な場合は、実施計画を立てる。</p> <p>○調査・実験等を実施する。</p> <p>○結果をまとめ、考察する。</p>	<p>主③(行動観察)</p> <p>主②(ワークシート)</p> <p>知②(行動観察)</p> <p>知①(ワークシート)</p>	<p><国語> 観察・分析して論じよう ポスターの批評文</p>
5 実行、振り返り (3時間)	<p>◎「福富提言」を発表する。</p> <p>○「福富提言」発表会で発表する。</p> <p>○発表を振り返る。</p>	<p>主④(発言, 行動観察)</p> <p>知①(ワークシート)</p>	

5 本時の目標

「福富のよりよい未来」の在り方について考える～誰のための未来か～

6 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇)
<p>1 探究活動の見通しをもつ。 地域の未来を考えて「福富提言」を後輩に発表することは、福中生として後輩に思いを託すことにつながることを知る。</p> <p>2 これまでの学習を振り返る。 ○中学校1年生から学んで感じてきたことを思い出して交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森と水の関係，自然の共生を学んだ。 ・森は干ばつ，水は護岸工事を調べた。 ・地域で活躍される方々の思い ・自然豊かな特色を生かしたい思い ・人口減少，少子高齢化 	<p>◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て</p> <p>◇以前作成したPPを見返し，話し合いを通して，これまでの学習を振り返る。</p>
<p>「福富のよりよい未来」とはどのようなことを考える</p>	
<p>3 「福富のよりよい未来」について考える。 ○あなたの考える「福富のよりよい未来」とは何かを考えよう。(それは“誰のためのか”をよく考えよう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすために交通の利便性を上げる。 ・イベントを増やして集客する。 ・静かに暮らしたい人もいるのだから，自然に配慮できる人だけに移住してもらおう。 <p>4 考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなのため」と思って考えたけれど，いろんな人がいるから，難しいな。 ・政策にはお金がかかる，自分たちに一体何ができるというのだろう。 <p>5 福富町の取組の一部を知る。</p>	<p>◇福富町に関わる様々な資料を見せ，現状を再確認させる。(人口分布やイベントマップ，ふくらし，交通情報や自然・環境等，多面的に思考)</p> <p>◇イメージマップの結果を活用する。</p> <p>◇それぞれが考える「みんなのため」に違いがあること，「みんなの願い」を叶えることの難しさに気付かせると同時に，それでも必要だと思う取組について考えていこうとする意識をもたせる。</p> <p>◇現在の取組の成果と課題について興味をもたせ，次時へつなげる。</p>

7 板書計画

めあて 「福富のよりよい未来」とはどのようなことを考える

ホワイトボード

ホワイトボード

電子黒板
※ p p 提示
※ グラフ等提示